



国際金融資本は中国をつぶせるか ソロスとロックフェラーの場合

国際金融資本が望むなら、彼らは中国の体制を崩壊させることができるのでしょうか？
前号で、こんな記事を紹介しました。←
《中国主席、任期撤廃案：習氏の長期政権に道》読売新聞2/25 (日) 18:44配信
【北京＝竹内誠一】中国官報通信は25日、中国共産党中央委員が、「2期10年」と憲法が定める国家主席と国家副主席の任期について、この規定を削除する憲法改正案を、3月5日開幕の全国人民代表大会(全人代)国会に提案すると伝えた。

これで、習近平は、「終身国家主席になる可能性がある」と、この件でいろいろ質問をいただいております。
前号の最後に、こんなことを書きました。
《全般的には、「私が死ぬまで国家主席をやる」という決意は、中国国家による結果を残さないでしよう。
問題は、欧米や国際金融資本が、「習近平の権力欲は危険だ」という確信するかですね。
彼らが、はつきりそのことを自覚すれば、中国の体制崩壊は速いと思えます》



国際金融の代表格ジョージ・ソロス(Harald Dettenborn, via Wikimedia Commons)

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
つまりソロスは、「イラク戦争は誤りで、それによってアメリカは、自らの地位(＝覇権国家の地位)を失う」といっている。
ソロスは、「予言者」といっていいほど、その後のことをいいあてていました。
《アメリカの単独覇権というプッシュの夢は、

トランプが救った習金平？

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
つまりソロスは、「イラク戦争は誤りで、それによってアメリカは、自らの地位(＝覇権国家の地位)を失う」といっている。
ソロスは、「予言者」といっていいほど、その後のことをいいあてていました。
《アメリカの単独覇権というプッシュの夢は、



デビット・ロックフェラー(National Archives and Records Administration [Public domain], via Wikimedia Commons)

メールマガジン「ロシア政治経済ジャーナル」
発行 北野 幸伯
Copyright (C) RPE Journal All Rights Reserved. 358
アドレス変更・解除は
http://www.mag2.com/m/000012950.html

米、鉄鋼・アルミ輸入制限

広がる反発、対抗も 貿易戦争の引き金に

【共同】トランプ米大統領が鉄鋼とアルミニウムの輸入制限を発動する方針を表明した。米国外で反発が広がり、相手国が対抗手段に出れば貿易戦争の引き金がかかる恐れがある。米国の緊密な関係を自任する日本にも火の粉が降りかかる恐れがある。

▽前代未聞

「米国の鉄鋼産業とアルミニウム産業を再建する」。トランプ氏は1日にホワイトハウスで開いた業界幹部との会合で、輸入制限の狙いを強調。米鉄鋼協会は「正式決定を心待ちにして」との声明で歓迎を表明した。

▽メツ

「輸入制限の対象になれば対抗措置を取る」と宣言したのは、米国にとって最大の鉄鋼輸入相手国であるカナダだ。高関税の影響は甚大なだけに、フリーランド外相は声明で「カナダとの貿易を安全保障上の脅威と見なすのは完全に不適切」と非難した。

▽板挟み

「日本の製品は米国製品と競合していない。中国製品が米国に流入している」と分析する。中国は布石を打ったが不発に終わった。習近平国家主席は「貿易摩擦の火消し役」（中国メディア）として、自身の経済ブレーンである劉鶴、共産党中央経路指導グループ办公室主任を2月末から米国に派遣した。

▽板挟み

「日本の製品は米国製品と競合していない。中国製品が米国に流入している」と分析する。中国は布石を打ったが不発に終わった。習近平国家主席は「貿易摩擦の火消し役」（中国メディア）として、自身の経済ブレーンである劉鶴、共産党中央経路指導グループ办公室主任を2月末から米国に派遣した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「共同」認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

移住希望、1位は長野

17年、福島、富山が上昇

【共同】認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が28日発表した2017年の移住希望地域ランキングで、1位は長野県、2位は山梨県、3位は静岡県、4位は福島県、5位は富山県、6位は山梨県、7位は静岡県、8位は福島県、9位は富山県、10位は山梨県に上昇した。

「世の中においしい物がたくさんあるのに、好き嫌いが多い貴女はよっぽど生ながらに徳がないです」と母は軽蔑したように言う。何を言われても嫌なものは食べない。でも私だけどうして...?と時々考える事はある。父は「香料商」をしていた。香水の原料（香水の二〇倍くらいの濃さである）を売る店で、店の中には数百の香水瓶が並んでいて、これらにまじりあつた匂いは表現のしようがないほど「良い香り」がしていった。香水をつけている人の匂いは嫌いだ、この混ざり合った香りは父の店以外で嗅いだ事がない。こんな匂いを赤ん坊の時からいつも嗅いでいたからだろうか? 「父親の臭覚を一番受け継いでいるのは長女の貴女です」とよく祖母に言われた。あれは皮肉だったのだ。やっとな最近気がついた。父も好き嫌いの多い人だったから。それにしても父が亡くなって四〇年近くになるというのに、時々あの店の中で嗅いだ「良い香り」が突然してくる。思わず「あらお父さん」と独り言をいう。ほんの二秒なのだが、どうして今頃?人間の神経には何十年も匂いを記憶する能力、装置があるのだろうか。そうしてみると私の漬物嫌いは、ずっと小さい時のいやな匂いの記憶なのかもしれない。それはともかく、最近私に一つ大きな心配事ができた。体力の衰え、記憶力の低下、意欲、行動力も判断力もあやしくなってきた。これは「先が見えてきた」証拠だ。そろそろホームの事を考えないといけない。私が行く先の事を考える年ごろとなった。日系に入ると漬物が出てくる。これは大問題。其のうえ周りの人たちがモジョモジョと食べているのを想像しただけで目まいがしてくる。かと言ってブラジル人のホームに入ると毎日油がでてくる。あれは二日でお手上げ、喉を通らない、脂っこい食事も拒絶反応。と考えると行くところがない。このままでは最後まで一人住まいを覚悟しないと行けない。しかし一人は心細い、孤独死というのがあるではないか。日々、真剣に考えている。悩んでいる。娘は私の心配もなんのその。 「ほけてしまったら何を食べても解からないから、ダイジョブよオ」 我が人生の最後のすがたが「ほけて漬物を食べさせられている...」とは!想像しただけで大粒の涙が吹き出してくるではないか...。 ニーン。何としても...ポケないぞ!がんばるぞ!...ポケてたまるか! (二〇一〇年)

kenko Hirose
健康食品
プロボリス・アガリクス専門店
日本への発送もしております。
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
(バロン・デ・イグアペ街とガルボン・フェノ街の角)
Tel.: (11) 3271-5608 - Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

プロボリス専門店
ムラサン健康食品
MURASAN PRODUTOS NATURAIS
プロボリス
有名ブランド各種 電石けん アサイベリー 健康食品その他
Rua Galvão Bueno, 364 - box 3 - Liberdade - SP
Tel./Fax: (11) 3207-4490 - www.murasankenko.com.br
(日本への発送もしております)

Shiatsu 指圧・整体・鍼灸で
腰痛ヒザの痛み、首の痛み、
坐骨神経の痛み
Prof. Minoru Kohakura
Tel: (11) 3262-0835
Av. Paulista, 509 Sala 7 (外ロ・ブリガデイロ近く)

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
ぬほこ はっほうばらい
開運 沼矛八方被
Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
Tel: (11) 5575-4783 - www.templouxintoista.org.br

NEOVISIE Oftalmologia
中野眼科 ブラジル眼科学会
認定の眼科専門医
5548-7802
白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、
レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術
CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de
DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER
日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。
Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana
METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA
Admite-se estagiário(a)
研修生募集中 (男女)
寝ちがいの、
首・肩・腕の痛み、
腰痛、ギックリ腰、
坐骨神経痛は
WA NYU SEI TAI 法で
SADAKAZU NAKATA PhD
CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE
TEL: (11) 5571-4113 / (11) 5083-6756
Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061 - V.Mariana - São Paulo - SP

AVENIDA PAULISTA, PARQUE IBIRAPUERA, SHOPPING e METRÔ
Matsubara Hotel
coloca o
melhor de
São Paulo à
sua volta
Rua Coronel
Oscar Porto, 836
Paraisópolis
Reservas:
11 3561.5000
0800 771 7101
matsubarahotel.com.br

青年部強化、母県文化普及へ

沖縄県人会



前列が青年部(中央が上原さん)、後列が執行部(中央が島袋会長)

ブラジル社会にチムダクルを 総会で110周年事業を報告

ブラジル沖縄県人会の第81回総会と、ブラジル沖縄文化センターの第46回総会が2月25日午前10時から、聖市の県人会本部で同時開催され、遠くは南麻州カンポ・グランデなど約40支部からの代表など約90人が参加した。8月3、5日に行なわれる県人移住110周年に向けて青年部の連携強化、一連の行事予定や記念誌発行、聖州内4カ所で開催されるイベントの沖縄文化イベント開催が発表されるなど確実に盛り上がりを見せてきた。

ブラジル沖縄文化センターの第46回総会では、8月3日の州議会での慶祝行事、母県や国外からの賓客と昼食会、知事表敬訪問、4日午前には本部で先駆者慰霊法要、午後はピラ・カロン沖縄祭り会場付近で記念パレード、5日は沖縄文化センターで式典が予定されている。総会では17年と18年の事業報告と通常レアル、22万9702

特別会計として50万レアルを計上しているという。沖縄文化センターは、200周年は80万レアルに達する。今年のはかり切りに切詰めている」と報告した。総会では17年と18年の事業報告と通常レアル、22万9702

40レアルが繰り越された。沖縄文化センター17年会計では収入30万5523.14レアル、支出29万1953.27レアル、繰越金1万3569.87レアルだった。ジュゼチ・ワインストックさんが歌声を披露する。公演ではグスタフ・マラーの3曲のほか、日本の曲1つ、伯人作曲家ウィラ・ロボス氏の3曲を演奏する。案内のため本田委員長とワインストックさんが来社した。ワインストックさんは夫をはじめ日本人の友人が多いことに触れ、「日系社会で発表できて本当嬉しい。なるべく大勢の人に来て欲しい」と呼びかけた。問合せは、文協(11) 3208・1755)まで。

ドイツのオペラ歌手が歌声披露

ドミンゴコンサート、11日

文協音楽委員会(本田ジョリア委員長)による「第82回文協ドミンゴコンサート」が、11日午前11時から(時間厳守)、文協小講堂(Rua Sao Joaquim, 381)で開催される。入場無料だが、保存できる食品1キログラムの寄付が必要。今回は聖市生まれドイツ在住のソプラノ歌手、ジュゼチ・ワインストックさんが歌声を披露する。公演ではグスタフ・マラーの3曲のほか、日本の曲1つ、伯人作曲家ウィラ・ロボス氏の3曲を演奏する。案内のため本田委員長とワインストックさんが来社した。ワインストックさんは夫をはじめ日本人の友人が多いことに触れ、「日系社会で発表できて本当嬉しい。なるべく大勢の人に来て欲しい」と呼びかけた。問合せは、文協(11) 3208・1755)まで。

コロナア歌手・平田ジョー

プロミッソンへ特別な思い

ブラジル日本移民110周年記念曲「ありがとらブラジル」をコロナア歌手・平田ジョー(ト・レイ教会)が制作している。この曲は、7月中旬に開催される各地の移民110周年記念式典で歌われるが、なかでも7月21日に入植百周年式典が開催されるプロミッソンへの特別な思いを語った。

プロミッソンのゴンザガ区には、38年に日本移民が建設した最初のカトリック教会「クリスト・レイ教会」がある。幕末に大規模な基督教徒迫害が起こり、社会的圧力を受けて移民した福岡県大刀洗町出身の隠れキリシタンの子孫が大半を占めた場所だ。同地区には、ジョーさんの祖父・キソウさん

父・ニコラウさんも居住し、同教会建設に汗を流した。大刀洗町にある村教会堂の図面を基に複製されたといわれる教会の建設にあたっては、教会横に煉瓦を焼くための窯を開き、そこで作られた約15万個のレンガを積み重ね、信者の労働奉仕により完成したという。同地区で資本を蓄えた後、平田一家はパラナ

州アラポンガス市に土地を購入し、珈琲栽培に従事。クリチバ連邦大学を卒業した父・ニコラウさんは、会計士となりマリンガ市に移り住み、そこでジョーさんは生まれ

伯各地を渡り歩くジョーさんだが、プロミッソンを初訪問したのは5年前。同地出身者子弟として歌手として活躍する功績を称え、プロミッソン市が名誉市民章を授与。そこで、初めてクリスト



プロミッソン名誉市民章を受章した平田ジョーさん

レイト教会を見たという。ジョーさんは「父から話聞いていたが、実際にあんな立派な教会を一つ一つの手で作ったとは」と当時を振り返る。その1カ月前、息子の成長を見届けたかのように、ニコラウさんは息を引き取った。

94年にNHKのど自慢大会チャンピオンに輝き、当地でプロ歌手として活動を始めたから今年で20年を迎える。「移民の故郷と称されるプロミッソンは、祖父や父にとっても思いが深い場所。今でも自分の胸のなかに生き続けている

【既報関連】ブラジル日本移民110周年記念祭典委員会、眞屋春美祭典委員長は、先月24日に抽選を実施した「移民110周年第一弾リッパ(協力券)」の当選者を、先月28日に開示した。当選者は以下の通り。

▼1等IIエドアルド・ナガトモ、2等IIエレナ・シバ・オハラ、3等IIエドアルド・アラシロ、4等II東芝メデイカルド・ブラジル、5等IIアントニオ・カワカミ。当日取材に応じた菊地

義治実行委員長は「トヨタ自動車やファスト・シヨップをはじめ、日系社会の皆様には色々と協力して頂いた。御礼を申し上げます」と謝意を述べた。本田技術研究所からシビックの寄付を受けた第2弾リッパの販売も、来月から開始される見込みだ。

また、第2弾リッパのうち100冊をプロミッソンに付与し、その売上全額を同地の祭典費用に充てる方向で検討している。その額は3万5千レアル。「聖市のためだけにお金を集めてはダメ。地方にも協力しなければ」と協力姿勢を示した。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

【既報関連】ブラジル日本移民110周年記念祭典委員会、眞屋春美祭典委員長は、先月24日に抽選を実施した「移民110周年第一弾リッパ(協力券)」の当選者を、先月28日に開示した。当選者は以下の通り。

▼1等IIエドアルド・ナガトモ、2等IIエレナ・シバ・オハラ、3等IIエドアルド・アラシロ、4等II東芝メデイカルド・ブラジル、5等IIアントニオ・カワカミ。当日取材に応じた菊地

義治実行委員長は「トヨタ自動車やファスト・シヨップをはじめ、日系社会の皆様には色々と協力して頂いた。御礼を申し上げます」と謝意を述べた。本田技術研究所からシビックの寄付を受けた第2弾リッパの販売も、来月から開始される見込みだ。

また、第2弾リッパのうち100冊をプロミッソンに付与し、その売上全額を同地の祭典費用に充てる方向で検討している。その額は3万5千レアル。「聖市のためだけにお金を集めてはダメ。地方にも協力しなければ」と協力姿勢を示した。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。問合せは、文協事務局(3208・1755)まで。

Vaga para Atendente de Viagens. Requisitos: experiência nível básico em nacional ou internacional, conhecimento em sistema de reservas, vendas de pacote turístico e emissão de bilhete. Interessados ligar para 3346-8249, falar com Márcio.

PALESTRA ABERTA AO PÚBLICO. MENTE, SAÚDE E SUCESSO. Mude a sua mente para melhorar a sua saúde e alcançar o sucesso! SÁBADO 10 DE MARÇO ÀS 15H. PALESTRANTE INTERNACIONAL: DR. JIRO IMAI PH. D. Ex-Investigador Científico da US NIH. Professor da Happy Science University.

サンパウロ日伯援護協会 リベルダーデ医療センター. 日本語で対応します. 受付時間: 月～金 07:00～19:00, 土 07:00～13:00, 人間ドック受付 月～金 07:00～16:00. 人間ドック、診察と検査(内科及び各種専門科)、歯科、各種健康保健取、り扱っています(日本の保健各種)、日本語の診断書を発行します.

サンパウロ日伯援護協会 日伯友好病院. 最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は真心込めた医療をあなたへお届けします. 24時間受付: 内科・外科・小児科、整形外科・心臓外科、他. 日本語で対応します(日本の保健各種).

ASSISTÊNCIA DOM JOSÉ GASPAR. 第六十六回定期総会ご案内. 会員の皆様には、ますますご清栄のこと、お慶び申し上げます。さて、本年度定期総会を、定款三十六条及び三十七条に基づき下記により開催致すことになりました。下記は、会員の皆様方にはご多忙のこととは存じますが、何卒万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内がたがお願い申し上げます。

Política (01/03/2018)

Abe deverá manter reforma trabalhista para profissionais especializados

O premiê japonês Shinzo Abe, enfatizou sua intenção de manter um plano para excluir alguns trabalhadores especializados de alta renda, das regulamentações de horas trabalhadas, num novo projeto de lei de reforma trabalhista. O premiê falava numa sessão de perguntas do comitê orçamentário da Câmara

Alta na quinta-feira, um dia após a Câmara Baixa ter aprovado o projeto orçamentário para o ano fiscal 2018. Kouhei Otsuka, líder do Partido Democrático, da oposição, conclamou Abe a abandonar o plano de excluir alguns profissionais especializados de alta renda, das regulamentações de

horas trabalhadas. Abe respondeu que o plano permitirá estilos flexíveis de trabalho e ajudará a aumentar a produtividade. Abe também prometeu melhorar as medidas de saúde para os trabalhadores relevantes, por meio da imposição de que eles tirem pelo menos 104 dias de folga por ano, acrescentando que seu

plano requer o consentimento do trabalhador, e é limitado aos que ganham no mínimo 100 mil dólares por ano. Na quarta-feira, Abe instruiu o ministro do Trabalho a remover a expansão do sistema de trabalho flexível do esboço do projeto de reforma que planeja submeter à atual sessão do Parlamento.

Economia (02/03/2018)

Taxa de desemprego do Japão chega a nível mais baixo em quase 25 anos

A taxa de desemprego do Japão caiu para o seu nível mais baixo em quase um quarto de século. Segundo o governo, no mês de janeiro, a taxa ficou em

2,4%. Isto representa uma queda de 0,3 ponto percentual em relação ao mês anterior, e a taxa mais baixa desde de abril de 1993. Em janeiro, mais de 65 mi-

lhões de pessoas estavam empregadas, um aumento de 920 mil pessoas em relação ao mesmo período no ano anterior. Funcionários dizem que a

indústria manufatureira lidera a tendência, com uma produção maior de automóveis, chips e smartphones.

Mulheres de conforto (01/03/2018)

Presidente da Coreia do Sul fala sobre questão das chamadas mulheres de conforto

O presidente da Coreia do Sul adotou uma linguagem dura ao falar sobre o Japão durante um discurso no feriado nacional que celebra a resistência ao domínio colonial japonês. O presidente Moon Jae-in ressaltou a questão das chamadas mulheres de conforto

do período da guerra. Nas palavras de Moon "não cabe ao governo japonês dizer que a questão das 'mulheres de conforto' foi resolvida, quando foi ele que cometeu o crime. A palavra 'resolvida' não deveria ser usada para crimes contra a humanidade cometidos

durante a Segunda Guerra Mundial". O presidente sul-coreano disse que a relação entre os dois países deveria ser baseada no arrependimento e reconciliação. Ele não pediu que o Japão faça qualquer coisa específica. Após a declaração de Moon,

o governo japonês apresentou um protesto à Coreia do Sul por canais diplomáticos. O secretário-chefe do Gabinete, Yoshihide Suga, pediu que Seul implemente um acordo firmado entre os dois países em 2015 para resolver a questão de maneira final e irreversível.

Comentário (28/02/2018)

Os efeitos da redução da maioria legal no Japão

O governo japonês pretende apresentar durante a atual sessão parlamentar seu projeto de reforma do código civil. A ideia é reduzir a maioria legal de 20 para 18 anos de idade. Além disso, acredita-se que leis relacionadas com a questão também serão revistas. Isso incluiria permitir que pessoas com 18 ou 19 anos de idade assinem contratos de empréstimos ou se casem sem precisar do consentimento dos responsáveis. Mesmo assim, a idade mínima legal para se beber álcool, fumar tabaco ou apostar em jogos de azar legalizados, como corrida de cavalos, deve continuar inalterada: 20 anos de idade. Além do mais, não se tomou nenhuma decisão quanto a mudanças no estatuto japonês da criança e do adolescente. No Comentário de hoje, vamos ouvir Michiko Miyamoto, vice-reitora da Uni-

versidade Aberta do Japão. Ela vai nos falar sobre os objetivos da mudança da maioria legal. Miyamoto já foi membro do painel do Ministério da Justiça dedicado à questão da redução da maioria legal. Ela diz: "Os jovens japoneses estão cada vez mais perdendo o interesse pela sociedade e por questões sociais. Isso é algo comum entre os jovens deste país. Eles pensam que a sociedade é uma coisa gigantesca, e que não interessa o que digam ou façam, eles jamais vão alterar essa realidade. Esta tendência precisa ser mudada. Desde as eleições de dois anos atrás, a idade mínima para se votar foi reduzida para 18 anos. Para acabarmos com este desinteresse, é importante que os jovens se envolvam diretamente na sociedade. Existem receios quanto à redução da maioria legal. Por exemplo, teme-se

que o número de jovens vítimas de fraudes contra o consumidor possa aumentar. Quando se atinge a maioria, as pessoas podem assinar contratos mesmo sem o consentimento dos pais. E se ele ou ela perceber depois que o contrato é prejudicial, a princípio nada pode ser feito. E não são apenas questões relacionadas com o consumidor. Muitas questões têm a ver especialmente com os jovens: saúde, moradia e emprego. Usando as escolas como plataformas, além de outras estratégias, espero que tenhamos locais onde os jovens possam se consultar e ter acesso a informações e a ajuda necessárias para que eles possam entrar na sociedade. Também me preocupa o estatuto da criança e do adolescente. Está sendo discutido se um infrator ao completar 18 anos de idade deve ser colocado em uma prisão, sendo assim tratado

como um adulto. A questão ainda continua em aberto. Acredito que, a longo prazo, um tratamento educacional seria mais eficaz para evitar a reincidência. Os governos central e locais têm painéis que discutem temas relacionados com o futuro dos jovens. Contudo, estes painéis são formados por pessoas mais velhas, e a voz dos mais jovens não chega até eles. A falta de espaço para que os jovens possam ser ouvidos também significa que eles não têm oportunidades para treinar como manifestar suas opiniões. No Japão, é muito forte na sociedade a cultura do sistema da senioridade. São poucas as chances que os mais jovens têm para expressar ativamente suas opiniões. Espero que a redução da maioria legal acabe com este hábito e ajude a cultivar a nova geração."

NHK WORLD
RADIO JAPAN

Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese

Comentário (01/03/2018)

Começa a temporada de recrutamento de estudantes universitários

Muitas companhias começaram, nesta quinta-feira, o processo de recrutamento de alunos que estão entrando no quarto ano do curso superior em abril deste ano para se formar nas universidades japonesas em março de 2019. Espera-se que a demanda por jovens formando continue alta em meio à falta de trabalhadores no Japão. Dizem que a competição entre as companhias que querem empregar esses jovens está se intensificando.

corporações, e continuam buscando empregos nessas empresas. Os empregadores de empresas menores estão manifestando dificuldade em encontrar candidatos. Segundo uma pesquisa, um número crescente de alunos aceita ofertas informais de trabalho de várias companhias e decidem no final que emprego vão aceitar. Esta atitude estaria dando trabalho às companhias.

Hoje, para o Comentário, conversamos com Yuki Honda, professora da Faculdade de Pós-Graduação em Educação da Universidade de Tóquio, sobre os desafios enfrentados pelo processo de busca de empregos no Japão. Ela estuda as atividades realizadas pelos estudantes neste processo empregatício. Honda diz: "A partir do dia primeiro de março as companhias têm permissão para convidar universitários a participarem dos eventos de recrutamento. Os empregadores podem dar início a atividades de análise dos candidatos no dia primeiro de junho. Este sistema segue diretrizes éticas sobre atividades de recrutamento definidas pela Federação de Negócios do Japão, ou Keidanren, juntamente com uma organização universitária.

Eu já falei várias vezes sobre a irracionalidade deste sistema de recrutamento coletivo, e ao mesmo tempo, feito no Japão. Ele geralmente apresenta dois problemas: a época e a metodologia ou regulamento do sistema. A época é problemática porque iniciar o recrutamento mais de um ano antes da formatura dos alunos tira a oportunidade que eles teriam de serem avaliados de acordo com suas notas finais na universidade.

O número de formandos em universidades começou a cair devido à queda na taxa de natalidade do Japão. A procura por recém-formados é grande entre companhias devido à falta de trabalhadores, por isso o mercado empregatício é favorável aos estudantes. Segundo analistas, há uma nova tendência entre algumas companhias de entrar em contato com os estudantes bem antes do dia primeiro de março, para programas de estágio, numa tentativa de segurar os candidatos o quanto antes. Dizem que muitos alunos foram contratados através desses programas de estágio, que servem como um teste de emprego. Além disso, muitos estudantes preferem as grandes

As companhias adotam padrões de recrutamento ambíguos, fazendo que os candidatos preencham formulários múltiplos de empregos, realizem testes de aptidão e vocação, e realizem várias entrevistas para mostrar suas personalidades. Este método é um desperdício tanto para as companhias como para os universitários. Eu gostaria que os empregadores oferecessem as vagas depois que tivessem avaliado detalhadamente o conhecimento e as habilidades adquiridas pelos candidatos no ensino superior, depois que eles terminassem suas teses e trabalhos de graduação. Contudo, o que vejo é uma tendência crescente, entre empregadores, de dar início ao processo de recrutamento ainda mais cedo, para segurar os candidatos que eles consideram capazes, de acordo com seus próprios padrões. Recomendo, com veemência, que esta prática seja alterada."

Aplicativos gratuitos da NHK WORLD
TV em inglês em 24 horas
NHK WORLD TV
*Para iOS, Android e Amazon Fire